

1. 時代の祈りとは、キリストのからだとしての、すなわち一人の新しい人としての召会の祈りです。それは、昇天の主またからだのかしらであるキリストの権威を行使する祈りであり、神のエコノミーを完成します。私たちはこのような祈りの中へと入るために、天のビジョンが必要であり、私たちの天然の観念をはるかに超えているものを見る必要があります：
- A) 私たちは、キリストの昇天の意義を見る必要があります：**①**キリストの昇天が示していることは、贖いの働きすべてが完全に完成されているということです。**②**キリストの昇天が示していることは、キリストの主たる身分が確立されているということです：使徒 2:36 こういうわけで、イスラエルの全家は、確かに知っておきなさい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は主またキリストとされたのです。
a. 主が獲得し到達したあらゆる事は、「召会に」伝達されつつあります。エペソ 1:22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。
23 この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。
b. 私たちが見る必要のある天的事実とは、キリストが神によって高く上げられ、宇宙の主として立てられ、万物の上にかしらとして召会に与えられているということです。万物は彼の足の下にあります。そして彼が獲得し到達したあらゆる事は、彼のからだである召会に伝達されつつあります。
- B) 私たちは、キリストのからだとしての召会の地位を見る必要があります。召会はキリストのからだであるので、召会の地位は、キリストの地位と全く同じです。からだはかしらと一であるので、からだの地位はかしらの地位と全く同じです。
- C) 私たちは、キリストのからだとしての召会の権威を見る必要があります：**①**からだの権威は、からだによって行使されるかしらの権威です。**②**私たちは召会、キリストのからだとして、キリストの権威を用いる必要があります。
- D) 私たちは、キリストのからだとしての召会の祈りを見る必要があります：**①**このような祈りは、個々の信者の祈りではなく、キリストのからだとしての召会の祈りです。物理的には、私たちは自分の部屋の中で、ただ一人で祈っているかもしれませんが、霊的には、私たちはからだと一です。**②**このような祈りの中で、私たちは主に、私たちのために何かを行なっていただくよう請い求めるではありません。そうではなく、私たちは、主が獲得し到達したものを要求するのです：
a. キリストは、主たる身分と、かしらたる身分を獲得しました。彼は主であり、召会に対して万物の上のかしらです。
b. キリストは、宇宙で最も高い所に到達しました。彼は、死人の中から復活させられ、天上で神の右に座しており、宇宙におけるすべての支配、権威、力、主権を超えて、はるかに高くされました。エペソ 1:20 神は、その力強い大能をキリストの内に働かせて、彼を死人の中から復活させ、彼を天上でご自身の右に座らせ、**21** すべての支配、権威、力、主権、そしてこの時代ばかりではなく、来たるべき時代においても唱えられるあらゆる名を超えて、はるかに高くされました。**22** …そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。
③ 私たちは、主が昇天において獲得したものにしがって祈るとき、次のように祈ることができます、「主よ、私たちは現在の状況に同意しません。私たちはあなたのからだとして、あなたの昇天の立場を取り、現在の状況に対するあなたの主権を要求します」。
④ 私たちは、主が昇天において到達したものにしがって祈るとき、私たちがだれであるか、私たちがどこにいるかを、ただ宣言すべきです。私たちはからだの中におり、からだはかしらの中におり、かしらは超越しています。私たちがかしらのからだであり、またかしらが今や超越しているというビジョンを、私たちが持っているなら、私たちはこの立場を取って、主が到達したものを要求し、すべての消極的な事物に次のように告げるでしょう、「私を煩わせるな。火の池に行け！ 私は超越している。おまえは私に触れることはできない。おまえは私の足の下にいる」。
⑤ からだは天にいるかしらと一であるので、すでに天で縛られ解かれているものを、からだは縛り解く権威を持っています。マタイ 16:19 私はあなたに天の王国のかぎを与える。あなたが地上で縛るものはすべて、すでに天で縛られていたものであり、あなたが地上で解くものはすべて、すでに天で解かれていたものである。
18:18 まことに、私はあなたがたに言う。あなたがたが地上で縛るものはすべて、すでに天で縛られていたものであり、あなたがたが地上で解くものはすべて、すでに天で解かれていたものである。
⑥ 召会は、岩の上に建造されます。この岩は、昇天のキリストです。結果として、ハデス [陰府] の門も、召会に勝つことはできません。
- E) このような祈りの中へと完全に入り込み、かしらによってからだに与えられた権威を行使することができるようになるために、私たちが認識しなければならない二つの事があります：
① 私たちは、私たちがからだの肢体であることを認識しなければなりません。また私たちは、からだの中で生活し、活動し、行動しなければなりません。例えば、パウロは投獄されましたが、キリストのからだから引き離されたり、からだの供給から断ち切られたりしませんでした。
② 私たちは日常生活の中で、常に古い人を脱ぎ捨て、私たちの思いの霊の中で新しくされることによって新しい人を着なければなりません。新しい人は、かしらとからだ、すなわち、キリストと召会から成っています。
- F) 「私たちは昇天したキリストのビジョンを見て、権威の祈りをするを学ぶ必要があります。二千年間、これらの事柄は軽視されてきました。しかし、この最後の時代に、主はそれらを回復しようとしておられることを、私たちは信じます。あまりにも多くのとき、私たちはキリストの昇天の立場を取らず、彼が獲得し到達したものを要求しません。それにもかかわらず、主はこの失われた立場を回復すると、

私たちは信じます。これは、良き地の最高峰、最も高い山です。この最後の時代に、主はこの最高峰、この最も高い山を回復します。私たちはこの事実を認識し、この立場を取り、かしらが獲得し到達したものを要求しなければなりません。これが、召会の勝利を得る祈りです。これが時代の祈りです。』

II. 賛美は神の子供たちによってなされる最高の働きです：

- A) 聖徒の霊的な命の最高の表現は、神に対する賛美です。
- B) 神の御座は、宇宙における最も高い場所であり、さらに彼は「イスラエルの賛美の上に座しておられます。詩 22:3 しかし、あなたは聖であって、イスラエルの賛美の上に座しておられます。
- C) 神の御名が、さらには神ご自身でさえ、賛美を通して高く上げられます：
① ダビデは一日に七度、神を賛美しました。クリスチャン生活は、賛美を通して引き上げられます。賛美することは、あらゆるものを超越して主に触れることです。 ② ダビデはレビ人を立てて、神の契約の箱の前で楽器を演奏させ、神を覚えさせ、神に感謝させ、神を賛美させました。
③ ソロモンがエホバの宮の建造を完成したとき、祭司たちはエホバの契約の箱を至聖所の中へともたらしました。祭司たちが聖所から出て来たとき、レビ人は祭壇のそばに立ってラツパを吹き、シンバルと琴と豎琴をもって歌いました。彼らは共に神への賛美を鳴り響かせ、そしてその時、エホバの栄光が彼の家を満たしました。 ④ 私たちは全生涯にわたって、主を賛美すべきです。私たちは私たちの神に賛美を歌うべきです。 ⑤ 私たち、神の多くの子供たちが召会として集まって、御父を賛美するとき、長子は私たちが歌うことの中で賛美の詩歌を御父に歌います。
- D) 「ですから、彼を通して、絶えず賛美のいけにえ、すなわち、御名を言い表す唇の実を、神にささげようではありませんか (ヘブル 13:15)：① 実は、詩篇は旧約における賛美の書です。しかしながら、詩篇には賛美についての篇だけでなく、苦難についての篇もあります。神が彼の民に知ってもらいたいのは、賛美する者たちとは、困難な状況を通らせられ、感情が傷つけられた人たちであるということです。しかし、神はこれらの人たちにおいて賛美を完成されました。詩 8:2 幼子と乳飲み子の口によって、あなたはあなたの仇のゆえに力を確立し、敵と復讐する者を封じられました。マタイ 21:16 あなたがたは、「幼子や乳飲み子の口によって、あなたは賛美を完成された」とあるのを読んだことがないのか？
② 賛美の声が最も高らかなものは、非常に多くの場合、困難、逆境、人によって踏みにじられた感覚を経過している人たちからやって来ます。このような賛美は最も神を喜ばせ、神によって祝福されます。』
③ 賛美の性質は、ささげ物、いけにえです。言い換えれば、賛美は痛み、苦難、損失からやって来ます。神は神の子供たちがあらゆることを通して、またあらゆる状況において、神を賛美することを願っています。ヘブル 13:15 ですから、彼を通して、絶えず賛美のいけにえ、すなわち、御名を言い表す唇の実を、神にささげようではありませんか。
- E) 賛美は、キリストの勝利を展覧し、霊的攻撃に打ち勝つ道です：① サタンの究極の目標は、神へのすべての賛美をやめさせることです。祈りは霊的戦いを表徴しますが、賛美は霊的勝利を表徴します。私たちが賛美するときはいつでも、サタンは逃げ出します。 ② 「真夜中ごろ、パウロとシラスは祈りながら、神に賛美の詩歌を歌っていた。囚人たちは彼らに聞き入っていた」 (使徒 16:25)：a. パウロとシラスは獄の中で賛美のいけにえをささげていました。彼らの体の傷はまだいやされておらず、その痛みは和らげられておらず、その足には足かせがかけられており、彼らはローマ帝国の奥の獄の中に閉じ込められていました。b. 何か喜ぶことがあったのでしょうか？何か歌うことがあったのでしょうか？しかし超越する霊を持つ二人がおり、彼らはあらゆるものにまさっていました。彼らがこのように賛美したとき、獄の戸が開き、鎖が落ち、さらには獄吏と彼の全家族が喜びに満ちた方法で救われました。』
c. あなたに祈る力がなくなるときはいつでも、またあなたが自分の霊が重く圧迫されていて、傷つき、弱いことを見いだすときはいつでも、彼を賛美しなさい。もしあなたが祈ることができないなら、賛美してみてください。d. あなたが大変な事や問題に遭遇し、途方に暮れて倒れてしまいそうに感じるとき、次の一つの事をただ思い出しなさい。「なぜ賛美しないのでしょうか？」。もしあなたがその時、自分の賛美をささげるなら、神の霊はあなたの中で活動して、すべての戸を開き、すべての鎖を断ち切ります。
③ 「彼らは朝早く起きて、テコアの荒野に出て行った。その出て行くとき、ヨシャパテは立ち上がって言った、『ユダと、エルサレムの住民よ、私に聞きなさい。エホバ・あなたがたの神を信じなさい。そうすれば堅くされる。彼の預言者を信じなさい。そうすれば成功する』。彼は民と相談して、エホバに歌い、聖なる飾り物を着けて感謝をささげる者たちを立てた。彼らは軍勢の前に出て行って、こう言った、『エホバに感謝をささげよ。彼の慈愛は永遠に続く』。彼らが歌って叫び、賛美し始めたとき、エホバは伏兵を設けて、ユダに攻めて来たアンモン、モアブ、セイル山の子たちを襲わせたので、彼らは討たれた (歴代下 20:20-22)：a. 「彼らが…始めたとき」という言葉にどうか注意してください。この事が意味するのは、あらゆる人がエホバに賛美を歌っていたその時に、エホバが立ち上がって、アンモン人、モアブ人、セイル山の民を討ったということです。賛美ほど主の御手を素早く動かすものではありません。b. あなたは問題に遭遇するときいつでも、自分の手段と自分の策略を用いるのをやめて、その代わりに賛美の学課を学ぶように、あわれみを求めて祈るべきです。多くの戦いは、賛美することによって打ち勝つことができます。c. 賛美は永遠に続きます。賛美は永遠にやみません。d. 神を賛美する者は、あらゆるものを超越し、賛美することによって継続的に打ち勝ちます。これは原則であり、事実でもあります。e. 賛美することは神に栄光を帰すことです。神はすべての栄光にふさわしいのです。どうか神が満ちあふれる賛美を彼の子供たちから得ますように。』

経験①: 自分がキリストのからだの肢体であることを知り、学校生活で新しい人を着る

からだはかしの権威を共有しているので、主は彼の弟子たちに、彼らが地上で縛るものはすべて、すでに天で縛られていたものであり、彼らが地上で解くものはすべて、すでに天で解かれていたものであると告げられました(マタイ18:18)。私たちがからだの権威と共に祈るとき、私たちが地上で解くものは何であれ、天ですでに解かれていたものであり、私たちが地上で縛るものは何であれ、天ですでに縛られていたものです。からだは天にいるかしらと一であるので、すでに天で縛られ解かれているものを、からだは縛り解く権威を持っています。

召会は岩の上に建造されます。この岩は、昇天のキリストです。結果として、ハデス[陰府]の門も召会に勝つことはできません。私たちはハデス[陰府]の上に立場を持っています。こういうわけで、私たちはかしらによってからだに割り当てられた権威を行使して祈ることを学ばなければなりません。

このような祈りの中へと完全に入り込むために、私たちがさらに認識しなければならない二つの事があります。第一に、私たちは、私たちがからだの肢体であることを認識しなければなりません。また私たちは、からだの中で生活し、活動し、行動しなければなりません。第二に、私たちは日常生活の中で、常に新しい人を着なければなりません。新しい人はかしらとからだ、すなわち、キリストと召会から成っています。消極面で、私たちは古い人を脱ぎ捨てる必要があります。積極面で、私たちは新しい人を着る必要があります。からだの中に生きて、新しい人を着ることによって、私たちは、かしらによってからだに与えられた権威を行使することができます。

中高生編

マタイ18:18 まことに、私はあなたがたに言う。あなたがたが地上で縛るものはすべて、すでに天で縛られていたものであり、あなたがたが地上で解くものはすべて、すでに天で解かれていたものである。19 また、まことに、私はあなたがたに言う。あなたがたのうちの二人が求めるどんな事でも、地上で調和一致するなら、それは天におられる私の父によって成就される。20 二人または三人が私の名の中へ集められている所には、私がその中にいるからである。

召会は復活し、昇天したキリストのからだです。キリストは召会のかしらであり、かしらが獲得し、到達したものを主張することができます。中高生のあなたもからだの原則の中で、二、三人で祈ることを学んで下さい。

スマホ・ゲームの束縛から解放される祈り:例えばあなたはスマホ・ゲームに熱中してしまい、勉強する時間や召会生活の時間が無くなってしまいました。何度も決心してゲームを制限しようと試みましたがうまくいきませんでした。このような時、あなたの霊的パートナーやあなたを導いている兄弟姉妹と二、三人で権威の祈りをしてください。「主イエスよ、ゲームを制限することを決心しましたがうまくいきません。今、勉強に集中しないといけない時なのに、このままでは悲惨な状況になってしまいます。主よ、私を縛る悪鬼どもから私を解放して下さい。私たち二、三人は一つ心でからだの原則の中で権威の祈りをします。私をあらゆる束縛から解放して下さい。からだの中で、主の御名によって祈ります。アーメン、ハレルヤ！」

学校の中のいじめから解放される祈り:また、どうしてもあなたと馬の合わない同級生がいて、いつもあなたの癪(かん)に障るようなことを言ってきます。このような時も、あなたは権威の祈りを二、三人で祈ることができます。「おお、主イエスよ、クラスメイトの墮落した感情を掻き立て、私に攻撃してくる背後の邪悪な勢力に、私は敵対します。私は若い中高生ですが、私はキリストのからだの一体です。したがってサタンは私を標的にして攻撃して来ます。このような時、私は決して弱くなってサタンの罠に入ってははいけません。主の中で私を力づけてください。またキリストのからだの中で、団体の戦士としてサタンとサタンの軍勢に敵対して立ちます。この戦いは血肉に対するものではなく、支配たち、権威たち、暗闇の世の主権者たちに敵対するものです。主の勝利を賛美します。また同時に私は学校生活で古い人を脱ぎ捨て新しい人を着るべきです。クラスメイトの話を気にしすぎるのは私の古い人です。思いを霊に付けて、古い人を脱ぎ、新しい人を着ることができますように。このような私の感情を害する環境において、実際的に古い人を脱ぐことを経験できますように。アーメン！」

二、三人で祈って解決できない場合は、召会の地区集会の責任者や召会の責任者に交わり、一緒に祈る:

もし二、三人で祈っても解決できない場合は、召会の地区集会の責任者や召会の責任者に交わり、一緒に祈ってもらうことができます。あなたはこのようにして、個人ではなくキリストのからだの原則である、「二、三人で祈る」と「召会に告げて祈る」ことで権威の祈りを行使することができます。権威の祈りは求める祈りではなく、キリストが獲得し、達成した勝利にあずかることを主張する祈りです。あなたはキリストのからだの肢体なので、このことを主張することができる立場があるのです。このような認識の下で、あなたは次のように命じる祈りをすることができます。「悪魔サタンよ、お前が優勢であるというのは偽りである。お前は十字架上で滅ぼされた。お前の居場所は十字架であるべきだ。サタンよ、なぜここにいるのか、十字架に帰れ！」

中高生の時から主と交わる祈りだけでなく、からだの中で権威の祈りを行使することを実際的に学んで下さい。

経験②: 主の勝利を賛美してサタンを退ける

賛美は霊的攻撃に打ち勝つ道です。多くの人々は、サタンが神の子供たちの祈りを恐れていると言います。神の子供たちがひざまずいて祈るときはいつでも、サタンは逃げ出します。こういうわけで、サタンはしばしば神の子供たちを攻撃し、彼らが祈ることを妨げるのです。これは通常の攻撃です。しかし、私たちはもう一つの事実を指摘します。サタンの最大の攻撃は祈りに狙いを定めているわけではありません。彼の最大の攻撃は賛美に狙いを定めています。これは、サタンが祈りを攻撃しないという意味ではありません。クリスチャンが祈ろうとする瞬間、サタンが攻撃し始めます。人と会話をするのはとても容易ですが、人が祈る瞬間、サタンは問題をもってやって来ます。サタンは人に祈ることが難しいと感じさせます。これは事実です。しかし、サタンは祈りを攻撃するだけでなく、また神の子供たちの賛美を攻撃します。サタンの究極の目標は、神へのすべての賛美をやめさせることです。祈りは霊的戦いを表

徴しますが、賛美は霊的勝利を表徴します。私たちが賛美するときはいつでも、サタンは逃げ出します。ですから、サタンは私たちの賛美を最も憎んでいます。彼はすべての力を尽くして私たちの賛美をやめさせます。

神の子供たちが愚かであるなら、自分の逆境と踏みにじられた感覚の下で苦難を受けているとき、賛美をやめてしまします。彼らが神をさらに知るようになるなら、ピリピの獄中でさえ歌うことのできる場所であることを見るでしょう(使徒 16:25)。パウロとシラスは独房の中で神を賛美していました。彼らの賛美は獄の戸をすべて開きました。その日、獄吏は主を信じ、全家族が喜びに満ちた方法で救われました(使徒 16:19-34)。パウロとシラスは獄の中で賛美のいけにえをささげていました。彼らの体の傷はまだいやされていませんでした。その痛みは和らげられていませんでした。その足には足かせがかけられており、彼らはローマ帝国の奥の獄の中に閉じ込められていました。何か喜ぶことがあったでしょうか？何か歌うことがあったでしょうか？しかし超越する霊を持つ二人がおり、彼らはあらゆるものにまさっていました。彼らは神が依然として天に座しておられるのを見ました。神は全く変わっていませんでした。…彼らの体は苦難を受けていたでしょう。しかし、神は依然として御座に座しておられました。神はなおも彼らがほめたたえるにふさわしい方でした。私たちの兄弟パウロとシラスは祈り、歌い、神を賛美していました。このような賛美は、彼らの痛みと損失から生じたものであり、賛美のいけにえです。このような賛美が勝利です。

初信者の兄弟姉妹は、多くの年月を経過してはじめて、賛美の学課を学ぶことができるべきではありません。初信者でも直ちに賛美し始めることができることを認識すべきです。あなたは問題に遭遇するときはいつでも、自分の手段と自分の策略を用いるのをやめて、その代わりに賛美の学課を学ぶように、あわれみを求めて祈るべきです。多くの戦いは、賛美することによって打ち勝つことができます。多くの戦いが負けるのは、賛美に欠けているからです。あなたは神を信じるなら、あなたの問題のただ中で主に告げることができるでしょう、「私はあなたの御名を賛美します。あなたはすべてにまさって高いのです。あなたはすべてにまさって強いのです。あなたの慈愛は永遠に絶えることはありません！」。神を賛美する者は、あらゆるものを超越します。彼は賛美することによって継続的に打ち勝ちます。これは原則であり、事実でもあります。

在職青年編

歴代下 20:1 この後、モアブの子たちとアンモンの子たちがメウ二人の何人かと共に、ヨシャパテと戦おうとして攻めて来た。2 ある人たちが来て、ヨシャパテに告げていた、「海の向こうから、シリアから大軍があなたに攻めて来ました。彼らは今ハザゾン・タマル(すなわちエン・ゲデ)にいます」。

12 私たちの神よ、あなたは彼らを裁かれないのですか？ 私たちを攻めてくるこの大軍の前に、私たちに力はなく、どうしたらよいのかわかりません。ただ、私たちの目はあなたの上にあります」。

14 その時、エホバの霊が会衆のただ中でアサフの子たちのレビ人やハジエルの上に臨んだ。…

15 彼は言った、「ユダとエルサレムの住民とヨシャパテ王よ、あなたがたはみな聞きなさい。エホバはあなたがたにこう言われます、『このおびただしい大軍のゆえに恐れてはならない、おののいてはならない。この戦いはあなたがたのものではなく、神のものである。』

20 彼らは朝早く起きて、テコアの荒野に出て行った。その出て行くとき、ヨシャパテは立ち上がって言った、『ユダと、エルサレムの住民よ、私に聞きなさい。エホバ・あなたがたの神を信じなさい。そうすれば堅くされる。彼の預言者を信じなさい。そうすれば成功する』。21 彼は民と相談して、エホバに歌い、聖なる飾り物を着けて感謝をささげる者たちを立てた。彼らは軍勢の前に出て行って、こう言った、『エホバに感謝をささげよ。彼の慈愛は永遠に続く』。22 彼らが歌って叫び、賛美し始めたとき、エホバは伏兵を設けて、ユダに攻めて来たアンモン、モアブ、セイル山の子たちを襲わせたので、彼らは討たれた。23 アンモンとモアブの子たちはセイル山の住民に立ち向かい、完全に破壊し、彼らを滅ぼした。セイルの住民を全滅させたとき、すべての人は滅ぼすのを互いに助け合った。

ビジネス・パースンとしてあなたは日本の伝統的な極めて不効率な労働環境(例えば、残業が多すぎる)に打ち勝つ必要があります。この労働環境の背後でサタンが働いており、日本における労働者を束縛し、主を信じることと召会生活を実行することを妨げています。あなたは、「自分が社長や役員ではないので、不効率な労働環境に打ち勝つなどという大それたことはできない」と言うてはいけません。主はすでにサタンに勝利を得られました。召会がかしらであるキリストの中へと成長することで主の勝利にあずかります。ヨシャパテ王は自分たちでは対応することのできない大軍が攻めて来た時、主を賛美することで敵を打ち破りました。人間的に言って、日本の文化に起因した不効率な労働環境に打ち勝つことは不可能です。しかしあなたがこの戦いを正常な召会生活の実行のために、世の中における主の証のために賛美をもって実行するなら、あなたは必ず勝利することができます。重要なことは、i) 主の勝利を信じること、ii) 主の勝利を賛美すること、iii) 召会建造のために兄弟姉妹と共に戦うことです。

109 主を賛美する — 彼の勝利 (英 124)

1. 賛美 賛美 キリスト、すでに勝利得る！
あがない成就した、ふるいひとは死ぬ！
十字架のしょう利で サタンはほろびる！

3. 賛美 賛美 キリスト、すでに昇天する！
万ぶつを超えつし、たかき御名を得る！
すべての権威おび、てき投げ落とす！

2. 賛美 賛美 キリスト、すでに復かつす！
死は飲み尽くされ、いのちへみちびく！
よみのやみ、やぶり、たい能あらかわす！

4. ハレルヤ、キリスト、すでに勝利得る！
ハレルヤ、キリスト、すでにふつつす！
ハレルヤ、キリスト、すでに昇天する！